

懐徳堂記念会

創立100周年記念事業

大阪大学は、昭和6年(1931)に大阪帝国大学として創設され、学術と教育の機関として発展してきました。平成23年(2011)に創立80周年を迎えるに当たり、そのイベントとして、大阪大学の精神的源流である懐徳堂について、改めて振りかえる場をもちたいと思います。

懐徳堂記念会は、明治43年(1910)に江戸時代の学問所懐徳堂の再興を目的に創立され、平成22年(2010)に創立100周年を迎えます。この100年間、大阪大学や関西財界の協力はもとより、多くの市民の方々のご支援を得て講座・講演会・資料展・出版などさまざまな事業を展開し、レベルの高い学びの場を市民に提供してきました。その歩みは、江戸時代の懐徳堂とともに、わが国の教育史に貴重な足跡を残しています。

懐徳堂シンポジウムでは、これまでの100年の経験をふまえて、これからの100年における市民の「学びのかたち」を、各界を代表する識者の提言をもとに考えたいと思います。これからの市民の「学び」には、どのような「中身」や「かたち」が求められているのか、このシンポジウムを通じて21世紀の市民の知的研鑽のための指針を見いだしたいと考えています。

懐徳堂展では、江戸時代の懐徳堂の創設から近現代における懐徳堂記念会の活動まで、約300年にわたる懐徳堂の歴史を振り返ります。



中井竹山肖像画



CGで再現した懐徳堂

総合探求 21世紀市民の「学びのかたち」

— 懐徳堂記念会のこれまでの100年とこれからの100年 —

開催日時 2010年11月27日(土) 午後1時～午後5時(正午12時より受付)

会場 NHK大阪ホール

参加費 無料

定員 800名

参加方法 11月24日までに懐徳堂記念会に申し込み(電話、メール、葉書などにて)

主催 財団法人懐徳堂記念会、大阪大学、NHK大阪放送局

基調講演: 堺屋 太一

パネリスト: コシノヒロコ(ファッションデザイナー、株式会社ヒロココシノ代表取締役)

津田 和明(サントリー株式会社元副社長、日本芸術文化振興会前理事長)

鷺田 清一(大阪大学総長、懐徳堂記念会理事)

進行: 森西 真弓(大阪樟蔭女子大学教授、雑誌『上方芸能』編集代表)

(講演者・パネリストなどは予定です。)

懐徳堂展 — 大阪“知”の源流 —

会期 2010年10月27日(水)～12月20日(月)

開館時間 午前9時30分～午後5時まで(金曜日は午後8時まで)

※入館は閉館の30分前まで

会場 大阪歴史博物館 8階 特集展示室(常設展示場内)

休館日 毎週火曜日(但し11月23日(火)は開館、11月24日(水)は休館)

観覧料 常設展示観覧料でご覧になれます

大人600円(540円) 大高生400円(360円) ※ ()内は20名以上の団体割引料金

中学生以下・大阪市内在住の65歳以上の方(要証明書提示)、

障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催 大阪大学、大阪歴史博物館、財団法人懐徳堂記念会

資料解説講演会(懐徳堂アーカイブ講座)

開催日時 2010年11月3日(水・祝) 講師: 湯浅 邦弘(大阪大学教授)

11月28日(日) 講師: 矢羽野 隆男(四天王寺大学教授)

両日とも午後1時30分～2時30分

会場 大阪歴史博物館 4階 講堂

当日直接会場へお越し下さい。参加費は無料です。午後1時より受付、先着250名。

NHK大阪ホール、大阪歴史博物館へは



・地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2番、5番、9番出口前

・大阪市営バス「馬場町」バス停前